

初心を忘れず

「感化力」 「謙虚に学び続ける」



3学期は、時間の経過の速さを特に感じます。1月があっという間に「行って」しまい、2月に入ります。中学校では、私立高校一般入試、県立高校推薦入試が始まります。いよいよ進路実現に向けた山場を迎えることとなります。当然のことながら、出願書類や調査書の作成などにも追われ、一段と忙しい学年末を迎えていることとなるでしょう。生徒の進路や夢の実現に向けて、尽力いただければと思います。

一足先に、自身の夢を実現させた人たちがいます。新規採用教職員たちです。

23日の初任者研修会で、所長が講話の中で2点大切にしてほしいことを紹介しました。それは、「感化力」と「謙虚に学び続ける」ということでした。

教育では、意図的な教育と無意図的な教育がある。無意図的な教育は、日頃の生活体験の中で培われていくものであり、教育基本法第1条にある教育の目的である「人格の完成」を考える上でも、教師の人間力による「感化力」は大きいということ。また、苦しい時の経験も一つ一つが財産となり、失敗もよい経験となって自分の人間的幅となる。そのため、繰り返し「謙虚に学び続ける」ことが大切で、そのことで多くのことが見え始めるということ、この2点を強調しました。

初心を振り返り、現在の自分自身を謙虚に見つめ直すことも、大切なことです。

【 新規採用教員面接 】

23日(木)、初任者研修第8回教育事務所研修において、新規採用教員面接を実施しました。今年度4月に採用された小学校教諭23名と中学校教諭15名がこの面接に臨みました。教諭においては、条件付採用期間の一年間を良好な成績で勤務を遂行した場合に正式採用となります。学校現場、市町教育委員会、県教育委員会で勤務状況を総合的に評価し決定していくこととなります。

(地方公務員法や教育公務員特例法に定められています。)

全員が緊張した面持ちで、この面接に臨みました。日頃の勤務の様子や特に力を入れて取り組んだこと、学んだことや今後の抱負などをしっかりと答えていました。応答の言葉からは、管理職にきちんと指導を受けていることや先輩教職員に温かく支えられている様子などを感じ取ることができました。この一年間余りで、それぞれが大きく成長していることが伝わってきました。

これからの活躍が楽しみです。



【 面接より（初任者の声） 】

- 明るく元気に、笑顔を大切にしていきたい。
- 礼儀を大切に、後ろ姿で教えることができるようになりたい。
- 生き生きと生きることを伝えたい。
- 感謝の気持ちを常に行動で示していきたい。
- 児童生徒に寄り沿うことを大切にしていきたい。
- 夢中になれるものを持つことを伝えていきたい。
- 失敗を通して「学ぶ」姿勢を大切にしていきたい。
- 「心配り」を伝えていきたい。
- 後ろ姿で教えることのできる「人としての教育」を尊重したい。
- 信頼される教師になりたい。
- 積極的にチャレンジする姿を見せていきたい。
- 「継続は力なり」こつこつと努力することを大切にしたい。
- 地域を元気にする教師でありたい。
- 自分の良さを生かし、手本となれるような教師になりたい。
- 児童生徒に真っすぐ向き合う人へ。多様性を認める人へ。
- 大人として当たり前前の方が当たり前前のできる人でありたい。
- 安心安全を最優先し、夢を与える教師でありたい。

学校の信頼回復に向けて

公立学校教職員への信頼を損ねる不祥事が発生しました。それを受け南予教育事務所から「**綱紀の保持及び服務規律の徹底について**」(通知)を出させていただきました。

昨年度来、全県をあげて教育に対する信頼回復に努めている中、このような事案がまたしても発生したことは、大変由々しき事態であります。

この事態を、**教育に携わる全ての者が厳しく受け止め**、一刻も早く県民の信頼を回復できるよう、これまで以上に**服務規律の厳正な遵守に教職員が一丸となって取り組む**必要があります。

各学校において研修会、不祥事の根絶や信頼回復に向けた取組について話し合い、実践していただくようお願いしました。

「またか」「他校のこと」という意識の低さでは、不祥事はなくなりません。「自分自身は大丈夫か」「自分の学校では十分な対策が行えているか」と前向きに考える姿勢を大切にし、危機意識を教職員全員が高めたいと思います。

教職員各自が、**不祥事根絶**に向けた意識を高め、自らを律しながら、子どもたちの夢や未来を育む教育活動に、皆の力を結集して、共に努めていきましょう。

